

## 平成 24 年度事業計画

はじめに

当財団は 4 月から公益財団法人に移行し、社会的にもより高い信頼性を得ながら、真に公益を目的とした法人として各種の公益事業活動をより円滑に遂行いたします。また、7 月には、大ホールが開館 30 周年を迎える節目の年でもあります。これまで地域における文化芸術活動の場として多くの市民に多彩な芸術文化を鑑賞する機会や創作活動等の支援を行ってまいりましたが、昨今の尼崎市の財政状況の悪化に伴い、市の財政支援に依存しない自立経営が求められております。

収益事業で得られた果実を財源の一部として公益目的事業を実施いたします。これにより一層文化・芸術性志向の高い事業運営と採算性志向の事業運営の両方を追い求めてまいります。既存の文化事業、附帯事業に放送事業を加えた新たな収入の確保に向けて幅広い営業・販売促進活動を展開するとともに、長期的、継続的に安定した運営基盤を確立するために民間企業等との協働により新たな財源を確保するために、賛助会員制度「アルカニック・スマイル倶楽部」の設立や命名権スポンサーを獲得したことによる大ホールと中ホールの新愛称である「あましんアルカニックホール」、「あましんアルカニックホール・オクト」をより多くの方々に慣れ親しんでいただきたいと考えております。

また、今回新たに OA 化による施設受付管理及びチケット管理システムを導入し、事務事業の円滑な運営を図りながら利用者へのサービスと利便性の向上、リピーターの確保に一層努めてまいります。

事業におきましては、カルチャースクールや美術展、ホール事業などの自主企画事業をアートマネジメントし、より多くの市民が良質の芸術文化を体験できる機会を創出すると共にアウトリーチ事業の拡充や貸館事業につきましても市民に喜んでいただけるより良いサービス提供に努めながら、積極的な営業活動を行ってまいります。地域に開かれた施設として、地域社会で活動する様々な団体や企業との連携と協働を進め、尼崎のまちづくりや経済発展に貢献してまいります。

# 1 文化事業

## (1) 美術展事業

建築家として初めて文化勲章を受章し、現尼崎市庁舎と旧大庄村役場(現大庄公民館)を設計した村野藤吾の設計図や模型などの資料を紹介する『「建築家 村野藤吾と尼崎展」併設展「柳川ミチ子・コレクション展」』、阪神間で活躍するさまざまな分野の現代作家にスポットを当て、現代の美術表現の魅力を紹介する『尼崎アートフェスティバル2012』、都市から自然へさまざまな被写体を通して人間の存在を迫り続けている尼崎出身の写真家有野永霧の活動の足跡を紹介する『郷土作家展 写真家・有野永霧との対話』の3事業を開催いたします。

また、新たに『白髪一雄作品整備・発信事業』の一環として市内の小学校にアウトリーチ事業を実施いたします。

事業名	とき
「建築家 村野藤吾と尼崎展」 併設展「柳川ミチ子・コレクション展」	5月12日(土)～6月3日(日)
「尼崎アートフェスティバル2012」	7月14日(土)～8月12日(日)
「郷土作家展 写真家・有野永霧との対話」	10月27日(土)～11月25日(日)
アウトリーチ事業	日程未定

## (2) 文化教室事業

常設講座、定期講座などを通じて、幼児から高齢者まで幅広い人々の芸術文化活動の学習、創作、実践の場や趣味を同じくする方々の交流の場を提供するとともに、受講生による発表会や桂米朝一門による尼崎落語勉強会など多種多様な企画事業を実施いたします。

また、効果的なPR活動を実施するとともに、随時見学・体験入学を行い受講生の拡大と定着化を図ってまいります。

### (3) ホール事業

#### 【大ホール】（あましんアルカイックホール）

大ホール開館 30 周年の記念イベントとして、幅広い年齢層が参加でき、普段立ち入ることが出来ないホール内の場所を舞台としたアルカイックホール独自のストーリーと問題で進行する『リアル脱出ゲーム』、N.Y.のジャズ・フュージョン界を代表する腕利きを集めたスーパー・ユニット『マンハッタン・ジャズ・オーケストラ』、昭和の歌姫「美空ひばり」を敬愛してやまない歌手たち（天童よしみ、ジェロ他）とひばりプロダクション所蔵の貴重な映像による『美空ひばり エンターテイメント』、幼児とその保護者から絶大な人気のあるキャラクター「しまじろう」がその仲間たちと繰り広げる親子参加型公演の『しまじろう劇場公演 歌とお城の物語』を実施いたします。

また、関西二期会、関西歌劇団、ニュー・オペラシアター神戸のオペラ公演に加え、新国立劇場から地方へのオペラ発信事業として実施する『新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演「愛の妙薬」』は、今年度より共催事業から主催事業に移行し、市内の高校生を無料招待いたします。その他、呉信一率いる関西ブラス界のトップメンバーが結集したジャパン・ブラス・コレクションのコンサートや日本を代表する法村友井バレエ団、貞松・浜田バレエ団公演、小学生を対象とした『舞台裏探検ツアーVol. 9』、市内の小学6年生を無料招待して実施いたします『劇団四季こころの劇場』など多彩なジャンルで各年代・年齢層に応じた事業を実施いたします。

事業名	とき
関西歌劇団第94回定期公演「カルメン」	6月16日(土)・17日(日)
リアル脱出ゲーム	7月13日(金)・14日(土)
マンハッタンジャズオーケストラ	7月15日(日)
貞松・浜田バレエ団第8回アルカイク定期公演「白鳥の湖」	9月22日(土・祝)
新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室関西公演「愛の妙薬」	10月24日(水)・25日(木)
関西二期会第77回オペラ公演「コシ・ファン・トゥッテ」	11月10日(土)・11日(日)
法村友井バレエ団第11回アルカイク定期公演	12月22日(土)
しまじろう劇場公演 歌とお城の物語	1月6日(日)
美空ひばり エンターテイメント	1月24日(木)
劇団四季こころの劇場	1月30日(水)・31日(木)
ニュー・オペラシアター神戸第32回定期公演「未摘花」	2月16日(土)・17日(日)
ジャパン・プラス・コレクションVol.15	2月頃
舞台裏探検ツアーVol.9	日程未定

【中ホール】（あましんアルカイックホール・オクト）

和楽器の魅力とその素晴らしさを伝える日本の伝統芸能『和楽器演奏集団 独楽』、躍動感に満ち、情感あふれる演奏スタイルで、財団法人地域創造「公共ホール音楽活性化支援事業」アーティストとして活躍している田村緑による『田村緑ピアノリサイタル』、今回で5回目となる「市民参加事業“市民が親しみやすく、参加しやすい事業”」として、毎年見応えのあるダンスで、市民より好評を得ている『第5回オクトダンスフェスティバル ダンスグランプリ in OCT』を実施いたします。

また、年末恒例事業のビッグ・バンドジャズ『古谷充 ネイバーフッド・ビッグバンドリサイタル Vol. 16』、オペラというものは一体どの様に作られるのか、オペラ制作の裏側に焦点をあて楽しく分かりやすく解説する『青島広志とおきの音楽塾 Part. IV』を実施いたします。

さらに、東日本大震災のチャリティー公演「太鼓の力」で中心的働きをしたkogakusyu 翔を中心に実施する『太鼓公演』、古澤巖と尼崎市吹奏楽団によるジョイントコンサート『古澤巖×尼崎市吹奏楽団』を実施いたします。

事業名	とき
和楽器演奏集団 独楽	8月5日(日)
くつろぎコンサート「田村緑ピアノリサイタル」	9月15日(土)
第5回オクトダンスフェスティバル ダンスグランプリ in OCT	11月4日(日)
古谷充ネイバーフッド・ビッグバンド・リサイタルVol.16	12月1日(土)
古澤巖スクールコンサート	1月21日(月)
古澤巖×尼崎市吹奏楽団	3月3日(日)
太鼓公演	3月11日(月)
青島広志とおきの音楽塾 Part.IV	日程未定

【ミニホール】（アルカニックホール・ミニ）

一流の演奏家の音楽を身近で楽しんでもいただく『古澤巖×高橋悠治』は、世紀の天才ピアニスト高橋悠治を迎え実施いたします。0歳からのクラシックとして『親子コンサート』、『田村かよ子ソプラノリサイタル～響け、哀愁の歌声Part.10～』、『民族楽器コンサート～マイケル・チンと仲間たち～』、気楽にクラシックを楽しんでもいただく企画として、大阪音楽大学卒業生による『くつろぎコンサート「楽器の家族たちⅢオーボエ」及び、「楽器の家族たちⅣクラリネット」』、関西歌劇団の若手歌手による『関西歌劇団新進歌手による名作オペラハイライト』、『くつろぎコンサート「小澤佳子打楽器コンサート」』を実施いたします。

また、音楽家の協力を得て、市内小学校、福祉施設や医療施設でアウトリーチ事業をさらに内容を充実して実施いたします。

事業名	とき
古澤巖×高橋悠治	5月26日(土)
うたってあそぼう！親子コンサート	7月15日(日)
田村かよ子ソプラノリサイタル～響け、哀愁の歌声Part.10～	7月27日(金)
民族楽器コンサート～マイケル・チンと仲間たち～	9月1日(土)
くつろぎコンサート「楽器の家族たちⅢオーボエ」	9月29日(土)
くつろぎコンサート「楽器の家族たちⅣクラリネット」	11月17日(土)
関西歌劇団新進歌手による名作オペラハイライト	3月9日(土)
くつろぎコンサート「小澤佳子打楽器コンサート」	日程未定
アウトリーチ事業	日程未定

## 2 貸館事業

貸館事業は景気の低迷する中厳しい状況にありますが、会議室については市内他施設の閉館の動きもプラスに作用して、増加の傾向にあります。

他の宴会室、美術ホールについては昨年並みの利用数に届くものと考えております。大ホールにつきましても、他施設の改修工事が継続される中、利用者の増加が見られます。会議室、ホールともに、増加した利用者が再度利用していただけるような、利用者のニーズをよりの確にくみ取れるよう、貸館時の受付対応を強化し利用者の拡大に努めてまいります。

※ なお、平成 24 年度より宴会事業については当センターの事業から切り離し、宴会業者が、宴会室の予約から宴会までを一貫して行います。

## 3 団体育成事業

### (1) 音楽団体

尼崎市吹奏楽団、市合唱団、市吹奏楽連盟、市合唱連盟及び市合奏連盟の育成にあたっては、それぞれの団、連盟の独自性を尊重しながら活発な活動が行われ、音楽文化の向上に寄与できるよう支援に努めてまいります。

### (2) 尼崎芸術文化協会

地域芸術文化の振興に寄与するために、尼崎芸術文化協会が実施する美術展、舞台公演、機関誌等の芸術文化活動に対しての助成を通じ、内容の充実・活性化に向けての支援を行います。

## 4 文化振興事業

市民文化の向上や振興に寄与するため、美術・文学・音楽・芸能など幅広い分野にわたる文化事業を開催し、市民の創作活動への顕彰や文化活動の場を広め、芸術文化に対する理解や意識の高揚を図ります。

事業名	とき
第6回近松賞 募集告知	4月～3月
近松ナウ	4月～3月
尼崎市民ふれあいギャラリー	7月18日(水)～9月10日(月) 1月10日(木)～2月12日(火)
松竹大歌舞伎 近松座	7月19日(木)
第33回富松新能	7月26日(木)
第33回尼崎新能	8月8日(水)
第65回尼崎市展	10月13日(土)～10月21日(日)
大近松289年祭	10月21日(日)
第67回尼崎市文芸祭	10月28日(日)
第49回尼崎市民芸術賞	10月29日(月)
第42回尼崎市文化功労賞	10月29日(月)
第61回尼崎市演劇祭	1月26日(土) 1月27日(日)



## 5 放送事業

当財団が放送事業を譲り受け4年目を迎えます。これまで同様文化事業と放送事業の連携を図ることで相乗効果が現れるような事業展開などを推進するとともに、収入の確保と事務の効率化による経費節減を図ってまいります。

放送設備については、開局15年を経過し老朽化している設備の必要最小限の改修を行い、設備故障による事故とならぬよう万全を期します。

自主事業については、ギャラリーアルカニックにおいて『第8回瓶太・奈緒子のおしゃべりワールドスペシャル～ありがとう！そしてよろしく～写真展&公開生放送』、10月頃にはアルカニックホール・ミニにおいて『第13回新人お笑い尼崎大賞本選会』を開催いたします。

3回目を迎える『DJ養成&スキルアップトーク講座』は、これまで市内外から広く受講されており、卒業生には、FMあまがさきのDJとして、また、ボランティアスタッフとして活躍していただきます。

他に、当財団の自主公演のPRを目的とした毎日の帯番組「アルカニックインフォメーション」、賛助会員制度「アルカニック・スマイル倶楽部」の募集や広報など、より厚みのある情報発信を行ってまいります。

また、コミュニティ放送の存続意義である「地域密着」「防災・災害情報」と「市民参加」の増進に寄与すると共に、新たな事業展開を図っていきたいと考えております。

事業名	とき
第2期DJ養成&スキルアップ講座応用編	4月～9月
第8回瓶太・奈緒子のおしゃべりワールドスペシャル～ありがとう！そしてよろしく～写真展&公開生放送	7月11日(水)～7月16日(月)
第13回新人お笑い尼崎大賞本選会	10月頃
第3期DJ養成&スキルアップ講座入門編	10月～3月

収支予算書(正味財産増減計算ベース)  
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	[ 1,405 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1,405 ]
基本財産受取利息	1,405	0	0	1,405
② 特定資産運用益	[ 3,097 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 3,097 ]
特定資産受取利息	3,097	0	0	3,097
③ 受取会費	[ 0 ]	[ 1,221 ]	[ 0 ]	[ 1,221 ]
受取メイト会費	0	1,221	0	1,221
④ 事業収益	[ 321,820 ]	[ 197,826 ]	[ 9,668 ]	[ 529,314 ]
美術展事業収益	1,447	0	0	1,447
文化教室事業収益	55,340	0	0	55,340
ホール事業収益	107,838	0	0	107,838
文化振興事業収益	11,001	0	0	11,001
施設収益	146,194	120,467	9,668	276,329
附帯事業収益	0	16,715	0	16,715
放送事業収益	0	60,644	0	60,644
⑤ 受取補助金等	[ 1,022,468 ]	[ 240,973 ]	[ 18,491 ]	[ 1,281,932 ]
受取市補助金	1,022,468	240,973	18,491	1,281,932
⑥ 雑収益	[ 19,486 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 19,486 ]
受取利息	54	0	0	54
雑収益	19,432	0	0	19,432
経常収益計	1,368,276	440,020	28,159	1,836,455
(2) 経常費用				
① 事業費	[ 212,141 ]	[ 49,451 ]	[ 0 ]	[ 261,592 ]
団体育成事業費	7,338	0	0	7,338
美術展事業費	10,321	0	0	10,321
文化教室事業費	32,869	0	0	32,869
ホール事業費	99,042	0	0	99,042
文化振興事業費	22,117	0	0	22,117
施設管理事業費	40,454	11,487	0	51,941
附帯事業費	0	6,961	0	6,961
放送事業費	0	31,003	0	31,003
② 管理費	[ 801,945 ]	[ 197,166 ]	[ 35,099 ]	[ 1,034,210 ]
人件費	288,807	45,226	27,738	361,771
物件費	513,138	151,940	7,361	672,439
経常費用計	1,014,086	246,617	35,099	1,295,802
当期経常増減額	354,190	193,403	△ 6,940	540,653
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	93,288	△ 93,288	0	0
当期一般正味財産増減額	447,478	100,115	△ 6,940	540,653

収支予算書(資金収支計算ベース)  
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額A	前年度予算額B	増減A-B	備 考
I 収入の部				
1 基本財産運用収入	[ 1,405 ]	[ 1,282 ]	[ 123 ]	
基本財産利息収入	1,405	1,282	123	
2 特定資産運用収入	[ 3,097 ]	[ 3,018 ]	[ 79 ]	
特定資産利息収入	3,097	3,018	79	
3 会費収入	[ 1,221 ]	[ 1,430 ]	[ △ 209 ]	
メイト会費収入	1,221	1,430	△ 209	
4 事業収入	[ 529,314 ]	[ 536,672 ]	[ △ 7,358 ]	
美術展事業収入	1,447	1,671	△ 224	
文化教室事業収入	55,340	53,888	1,452	
ホール事業収入	107,838	72,723	35,115	
文化振興事業収入	11,001	2,765	8,236	
施設収入	276,329	264,208	12,121	
附帯事業収入	16,715	83,777	△ 67,062	
放送事業収入	60,644	57,640	3,004	
5 補助金等収入	[ 1,281,932 ]	[ 920,447 ]	[ 361,485 ]	
市補助金収入	1,281,932	920,447	361,485	
6 雑収入	[ 19,486 ]	[ 8,345 ]	[ 11,141 ]	
受取利息収入	54	610	△ 556	
雑収入	19,432	7,735	11,697	
7 基本財産取崩収入	[ 35,600 ]	[ 0 ]	[ 35,600 ]	
投資有価証券売却収入	35,600	0	35,600	
8 特定資産取崩収入	[ 68,213 ]	[ 17,867 ]	[ 50,346 ]	
退職給付引当資産取崩収入	38,328	5,644	32,684	
減価償却引当資産取崩収入	8,925	0	8,925	
その他引当資産取崩収入	20,960	12,223	8,737	
9 投資有価証券売却収入	[ 0 ]	[ 44,000 ]	[ △ 44,000 ]	
投資有価証券売却収入	0	44,000	△ 44,000	
収入合計	1,940,268	1,533,061	407,207	
II 支出の部				
1 事業費支出	[ 261,592 ]	[ 277,405 ]	[ △ 15,813 ]	
団体育成事業費支出	7,338	7,338	0	
美術展事業費支出	10,321	9,290	1,031	
文化教室事業費支出	32,869	33,038	△ 169	
ホール事業費支出	99,042	65,307	33,735	
文化振興事業費支出	22,117	18,986	3,131	
施設管理事業費支出	51,941	41,917	10,024	
附帯事業費支出	6,961	69,035	△ 62,074	
放送事業費支出	31,003	32,494	△ 1,491	
2 管理費支出	[ 751,882 ]	[ 710,678 ]	[ 41,204 ]	
人件費支出	344,307	297,264	47,043	
物件費支出	407,575	413,414	△ 5,839	
3 基本財産取得支出	[ 35,600 ]	[ 0 ]	[ 35,600 ]	
投資有価証券購入支出	35,600	0	35,600	
4 特定資産取得支出	[ 6,313 ]	[ 46,238 ]	[ △ 39,925 ]	
退職給付引当資産取得支出	0	35,471	△ 35,471	
減価償却引当資産取得支出	6,313	7,787	△ 1,474	
修繕引当資産取得支出	0	1,718	△ 1,718	
その他引当資産取得支出	0	1,262	△ 1,262	
5 固定資産取得支出	[ 7,010 ]	[ 19,812 ]	[ △ 12,802 ]	
什器備品購入支出	7,010	19,812	△ 12,802	
6 その他支出	[ 0 ]	[ 729 ]	[ △ 729 ]	
受入保証金支出	0	729	△ 729	
7 借入金返済支出	[ 877,871 ]	[ 477,330 ]	[ 400,541 ]	
長期借入金返済支出	877,871	477,330	400,541	
支出合計	1,940,268	1,532,192	408,076	
当期収支差額	0	869	△ 869	

※ 前期繰越収支差額 46,739千円の内予備費支出30,000千円を充当する。